

## 単元名

なかよくなるろう いっしょにあそぼう

## テーマ

保小連携

## 本単元で育成する資質・能力

協働・コミュニケーション

## 本質的な問い

来年度入学してくる新しい1年生にできることは何だろう。

## 単元を貫く問い

年長さんが喜んで笑顔になってくれるには、どうすればよいだろう。

- 1 日時 令和4年 11月 9日(水) 12:00~12:45
- 2 児童数 筒賀小6名 戸河内小11名 計17名
- 3 単元について

## 【単元観】

本単元は、学習指導要領生活科内容(6)及び(8)を受け、関連付けて扱うように設定した。年長児との交流について、計画、実施、振り返る活動を通して、年長児の気持ちを想像したり、相手に分かりやすく伝えたりすることができ、年長児と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流することができることをねらいとしている。

また、児童自身が年長児のことを考えながら、遊びや活動内容を考え、話し合い・企画・準備等を行うことで、児童の主体性・協働性を育み、さらなる交流のきっかけにもなる単元である。

## 【児童観】

筒賀小学校と戸河内小学校の1年生は、それぞれ最寄りの園・所の年長児と定期的に一緒に活動する「なかよしタイム」を行っている。これまでに「サツマイモを植える」「遊ぶ(手遊び、貨物列車、折り紙、室内ゲーム)」ことをしている。

- ◎年長児と関わることに関心が高く、なかよしタイムに意欲的に取り組んでいる。
- ◎年長児に優しくする大切さについて理解している。「年長さんのお手本になりたい。」という思いも持っている。
- ◎「年長さんはどんな遊びをしたいのかな。」「もっと遊びを説明したいな。」という思いを持って、自らなかよしタイムの活動を考えてようになってきている。
- ▲①一緒に活動する中で、喜びを感じながらも、遊びのマナー化や園児さんに伝える難しさを児童は感じている。
- ▲②人間関係の固定化により、意見が偏ったり行き詰まったりしてしまい、考えを広めたり深めたりすることが難しい。

## 【指導観】

本単元では、同じ町内に住む他校の同学年の友達との考えや思いに触れ、友達との関わりを大切にしながら、協力して年長児に楽しんでもらえる遊びや自分たちにできる工夫を考え、実践できるようにしていく。まず、各校でそれぞれ「なかよしタイム」で行う遊びを考える。次に、2校合同で実演発表・話し合い・改善をしていく。そして、各校に持ち帰り、年長児と交流する。その後、振り返りを行い、更なる交流へと深めていく。児童実態の課題に対して、以下のように筒賀小・戸河内小間で連携を図りながら指導していく。

- ① 発表役と年長児役にそれぞれの学校の児童がなり、その後、発表役と年長児役の立場を入れ替える活動を仕組む。その活動を通して、年長児の立場で遊びの伝え方・内容がどうだったか考えることができるようにし、話し合いを活性化させていく。
- ② 人間関係が固定化されていない他校の1年生と一緒に学ぶことで視野を広げ、良い刺激となり多様な視点を持てるようにする。他校の発表を見たり感想や考えを聞いたりできるような活動を設定する。また、本時でスムーズに話し合い活動ができるように、事前に2校の1年生同士の交流活動を行い、人間関係づくりをしておく。

#### 4 単元の目標

年長児との交流について計画、実施、振り返る活動を通して、年長児の気持ちを想像したり、相手に分かりやすく伝えたりするとともに、遊びや遊びに使うものを工夫してつくることができ、年長児と関わることのよさや楽しさが分かり、進んで触れ合い交流することができるようにする。

#### 5 評価規準

知識・技能	①自分のことや伝えたいことが年長児に伝わるよさや楽しさに気付いている。 ②年長児のことや年長児が伝えたいと考えていることが分かる楽しさに気付いている。 ③遊びの楽しさや遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。
思考・判断・表現	①相手のことを思い浮かべたり相手の立場を気にかけていたりしている。 ②伝えたいことが、年長児に伝わるかどうかを判断して、伝える内容や方法を決めている。 ③年長児の遊ぶ様子や気持ちを予想したり、確かめたり、見直したりしながら、遊びに使う物をつくったり遊んだりしている。
主体的に学習に取り組む態度	①年長児のことを理解し、自分から積極的に関わっていこうとする。 ②友達のよさを取り入れたり自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。

#### 6 本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達してほしい児童生徒の姿【評価規準】
これまで	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児と楽しく遊んだり、一緒に野菜を育てたりする。</li> <li>年長児に、簡単な遊びを説明したり指示したりする。</li> <li>年長児のために遊び・出し物を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のことや伝えたいことが年長児に伝わるよさや楽しさに気付いている。【知技①】</li> <li>相手のことを思い浮かべたり相手の立場を気にかけていたりしている。【思判表①】</li> <li>友達のよさを取り入れたり自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。【学び②】</li> <li>遊びの楽しさや遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。【知技③】</li> </ul>
本時	事前に考えてきた年長児と一緒にしたい遊び・出し物を、2つの小学校間で実演発表し、意見を出し合い、よりよく工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたいことが、年長児に伝わるかどうかを判断して、伝える内容や方法を決めている。【思判表②】</li> </ul>
次時以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちで企画・準備・運営する会を開く。振り返りを行い、次の会に生かせるようにする。</li> <li>年長児との定期的な保小連携（なかよしタイム）を実施していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児のことや年長児が伝えたいと考えていることが分かる楽しさに気付いている。【知技②】</li> <li>年長児の遊ぶ様子や気持ちを予想したり、確かめたり、見直したりしながら、遊びに使う物をつくったり遊んだりしている。【思判表③】</li> <li>年長児のことを理解しようとする努力し、自分から積極的に関わっていこうとする。【学び①】</li> </ul>
単元のゴール	来年度入学してくる新しい1年生に喜んでもらえるよう、新しい1年生の気持ちを想像しながら、活動を考えたり関わったりすることを通して、新しい1年生と関わることのよさに気づくことができる。（定期的な保小連携・入学体験説明会）	

## 7 本時の展開

### (1) 本時の目標

年長児と一緒にしたい遊びの内容・方法（ルール）について、相手に伝わるかどうかを話し合い、友達と協力して見直すことができる。

### (2) 学習の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準
5分	1 今までのなかよしタイムの振り返りをする。 2 本時の課題とめあてをつかむ。	・各校のなかよしタイムの様子を振り返る。(今までの活動の様子の写真・保育所こども園からのビデオメッセージなど)	
	なかよしタイムを 年長さんに もっとたのしんでもらえるものにしよう。		
28分	3 考えてきた遊び・出し物を発表し合う。(実践方式) ① (発表) 筒賀小 (年長児役) 戸河内小 ② 交流タイム ③ (発表) 戸河内小 (年長児役) 筒賀小 ④ 交流タイム	・発表を聞く側は、発表をただ聞くのではなく、年長児役になり、実際に指示された通り動いたり、遊んだりする。分かりにくい指示はなかったか、今までより楽しく遊べたかを考えさせる。 ・交流タイムでは、各校2～3人程度の小グループに分かれ、良かった点・改善点を伝え合うようにする。 ・指示内容を文章化したものを提示したり、発表中の様子を動画に撮ったりして再考後と比較できるようにする。	
7分	4 2校それぞれに分かれ、自分達が考えてきた内容や説明、方法を再考する。	・話し合いだけではなく、実際に活動しながら考えていくようにする。	・年長児の遊ぶ様子や気持ちを予想し、伝え方や内容を見直している。
5分	5 本時の振り返りをする。	・今日の学習を通して変えたところを指導者が尋ね、インタビュー形式で理由や思いを語らせ、共有させる。 ・本時の学習を生かして、自分たちで「なかよしタイム」を開くことを確認し、意欲づけをする。	【思判表②】

## 8 環境構成

